

マダン州、ボギア地区

浜辺より撮影 滝澤祐一氏



椰子の樹

長野県ニューギニア会 会報

第38号

令和8年2月11日発行
長野県諏訪郡富士見町落合
発行人 安川 叡春
印刷 杏花印刷

会員の皆様にはご清祥にて新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。本年もどうかよろしくお願いいたします。

昨年七月に行われました第五十七回総会に於きまして、小池博之会長の退任に伴い新会長に選任された安川 叡春であります。ご承知のように本会の役員も高齢化により交代をしたいが後継者がいない、その上それぞれ健康上の問題も抱えておる現状もあり、選考に難儀いたしました。私自身体調にも不安があり、何より歴代会長の熱意にあふれた指導力で会を率いてくださった姿が思い出され、到底及ぶところではないと固辞しましたが、それぞれご事情あり、や

長野県ニューギニア会の存続を願って
就任の挨拶長野県ニューギニア会 会長
安川 叡春

むなくお引き受けした次第です。まことに非力で責務を果たす事が可能か不安であります。全力を尽くしてまいりたいと思いますので、何卒皆様のご協力ご支援の程よろしくお願いいたします。

戦没者への慰霊の
誠を語り継ぎ、

会を守りつなごう

昨年の全国戦没者追悼式での天皇陛下のお言葉に、「戦中・戦後の苦難を今後とも語り継ぎ、皆で心を合わせ、将来にわたって平和と人々の幸せを希求し続けて行くことを心から願います。」と述べられました。会員のお一人お一人が語り部となって次の世代の心に慰霊の灯を燈しつないでい

こうではありませんか。必ず若者たちが平和と慰霊の灯を引継いでいくしてくれるものと信じています。そして若い世代に入会を勧め、事務局などのお手伝いを頂ける方が居られましたら連絡をお待ちしています。

「嗚呼戦友の碑」は三千四百余柱の英霊が刻まれた大切な歴史遺産です。県護國神社と密に連携しながら管理してまいります。七月二十六日の慰霊大祭には大勢の参列をお待ちします。四十回を超えるニューギニアへの慰霊巡拝は日本遺族会の同事業の終了もあり、困難な状況です。そのような時、本会幹事の滝澤さんが昨年暮れ二度目の遺骨収集事業へ参加されました。（詳細は二・三面）今後国の遺骨収集事業への協力を通して現地とのつながりを図りたいと思います。

レビ・ジェームス氏
右は滝澤



ボギア地区ゴリンゴル村
作業前の現地ワーカー集合写真



遺骨収集作業風景



遺骨収集作業風景



地権者のジャスティンさんに、
昨年撮影の写真2枚を贈る



洗骨(刷毛ブラシ等で遺骨の砂等を取り除ききれいにする)後、
同行の鑑定人(長崎先生)による形質鑑定の様子
(鑑定結果、日本兵の可能性の高い柱の検体を持ち帰る)



現地住民への活動内容説明、
情報収集を行い、又、
村のリーダーらに日本兵埋葬地
について聞き取りを行う



現地住民による埋葬地と
考えられる場所(バンブラ)で、
踏査と位置確認作業



東部ニューギニア現地調査・遺骨収集派遣(第二次)

■派遣期間

令和7年11月29日から12月12日までの14日間

(報告:滝沢)

昨年の派遣時に撮影した現地の
子供たちの写真をホルダーにし、
50個ほど持参(お土産)



【派遣団構成】

(敬称略)

日本戦没者遺骨収集推進協会・
下向亮弘(団長)、他3名
厚生労働省・福島直樹(指
導監督)、長崎芽衣(遺
骨鑑定専門員1名)

日本遺族会・豊蔵信夫

東部ニューギニア戦友・遺
族会・(当会派遣)

隊友会・高橋裕一

PNG国立博物館(2名)、

通訳(1名)

派遣団同行者・マダン州

政府職員(1名)

【遺骨収容実績】

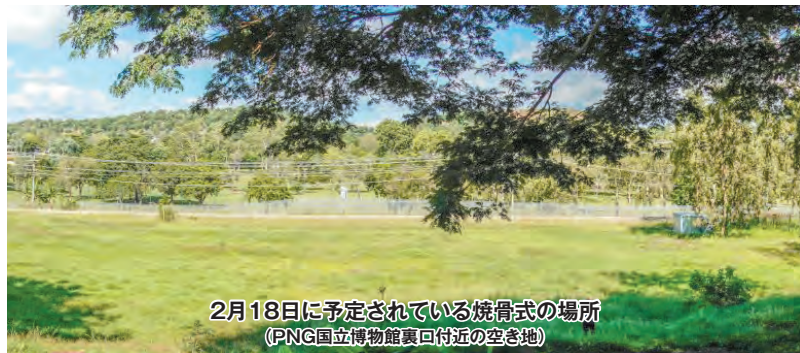
マダン州ボギア地区で
28柱の遺骨を収容し、D
NA鑑定用の検体を持ち
帰りその他の遺骨は大使
館に保管。

※遺骨が数多く発見さ
れたため、今次派遣で遺
骨鑑定が間に合わなかつ
た収容遺骨(推定5柱)
はマダン博物館に安置
し、同じく収容時間がな
く現場に杭を立てて埋め
戻した遺骨(推定4柱)
がある。

【現地協議内容】

日本大使館、PNG国
立博物館、マダン州政府
との協議を行い、今後の
派遣計画や2月18日に予
定されている焼骨式につ
いて説明。

※焼骨式については同
日午前中に博物館敷地内
にて「焼骨・追悼式」と
いう形で式典を実施する
こととした。



2月18日に予定されている焼骨式の場所
(PNG国立博物館裏口付近の空き地)

【今後の計画】

ボギア地区グリーンゴ
ル、アワールは次年度以
降も継続調査を予定。ア
ワールでの集団埋葬地に
ついては今後、要試掘調
査とした。



派遣団に墓標を見せる村人



昨年の派遣時で親しくなった、
現地子供の家に訪れ談笑(ほぼジェスチャー)

【所感 滝澤祐一】

令和7年度 東部
ニューギニア現地調査・
遺骨収集派遣(第2次)
は、私にとって昨年度の
派遣に続く2回目の参加
であり、改めて遺骨収集
事業の尊さと難しさを痛
感致しました。

現在、日本大使館には
100柱を超えるご遺骨を安
置されておりますが、一
向に帰還の日を迎えるこ
とができておりません。
今年2月に8年ぶりの焼
骨式が行われる予定です
が、コロナ時期を考慮し
ても、8年ぶりの焼骨式
が15柱ではあまりにも少
ないと思われます。鑑定
プロセス(DNA分析↓
専門家による総合的判
断)の改善をお願いし、
1柱でも多く、そして一
日でも早く祖国にお迎え
できること祈っております。

日本は80年の間、戦争
がなく平和な国だった
が、それは戦争で亡く

なった人の犠牲の上に築
かれた、かけがえのない
尊いもの。わたしたちは
このことを決して忘れる
ことなく、又、より多く
の方に遺骨収集の現状を
より知ってもらい、関心
を持ち続けてもらいう事
が、令和11年以降の法の
延長(事業の継続)に繋
がるかと考えております。



ポートモレスビー上空
機内よりポートモレスビー空港着
10分前に撮影



表敬訪問、及び今回派遣の
スケジュール説明等

第57回 令和7年度ニューギニア方面 戦没者慰霊大祭報告

長野県ニューギニア会主催第57回ニューギニア方面戦没者慰霊大祭は、先の大戦終結80年記念日（8月15日）を半月後に控えた令和7年7月27日松本市の長野県護国神社において執り行うこととし広く周知をしたところ、国会議員、県会議員の皆さま、松本市長、県



祭文奏上する安川会長

遺族会代表などご来賓と当会会員併せて四十余名のご参列をいただき厳肅に斎行しました。
午後1時、気温35度の猛暑の中、神社本殿において大太鼓の合図で始まり、英霊への黙祷、国歌演奏、修祓と続き、奥谷宮司による祝詞の奏上。続いて本会代表、小池会長（安川副会長代行）による祭文が奏上されました。ついで臥雲松本市長（加藤部長代読）、相澤長野県遺族会長が慰霊のことばを述べられました。
締めくくりに、来賓および本会代表による玉串奉奠がなされ、約一時間におよぶ慰霊式典が閉式しました。

第57回（令和7年度） 通常総会の報告

第57回通常総会は、慰霊大祭に引き続いて護国神社会議室において開催され、約25名の会員が出席し、審議の結果令和7年度の活動が全会一致で承認されました。

一、令和6年度（24・1・25） 決算

・収入 1,360,803円
・支出 769,371円
・繰越 600,432円

二、令和7年度（25・6・26） 予算

・収入 1,213,632円
・支出 1,185,000円
・繰越 28,632円
・特別会計（寄付等）
（令和6年度末）
302,000円

三、令和7年事業計画

・令和8年度慰霊大祭
令和8年7月26日（日）
長野県護国神社
・第58回通常総会
令和8年7月26日
慰霊大祭に続いて開催
会報「椰子の樹」発行
（年2回）
・インターネット・ホームページの管理、リニューアル

令和7年度 長野県ニューギニア会 役員名簿

小池前会長が体調不良のため辞任され、令和7年度「安川新会長」に引き継がれました。新たな役員体制をご紹介します。

顧問		会長		副会長		副		副		幹事長		副		副		監事		地区幹事	
横田	久	安川	観春	成澤	勝人	宮島	いく子	川上	白雪	長田	健治	大久保	寛憲	安川	観春	荒井	綏	宮嶋	叔子
本田	昌彦	大久保	典昭	原	雅彦	小池	博之	土屋	耕太郎	（敬称略）		（会計）		（事務局）		本田	昌彦	竹村	淳
																滝澤	祐一	天谷	裕道
																山崎	富士男	三澤	卓夫

椰子の実

暑い、寒い、と悩んだ昨年の一年が四季から二季になったような年を送り会報の発行も動く。小池会長が健康のご都合もあり辞任されたが長い間ご苦労さまだった。新会長を中心に編集メンバーも緊張している。★マスコミの政治問題はさておき、アメリカや国内でのスポーツTVが賑やか、そのなかでも大相撲の外人の活躍、優勝時は国籍には関係なく『君が代』の登場、また、勝敗はすべて現金主義など国技の一人歩きが気になった。
★世界各地の自然災害に国家間でのテロや武力問題、会報では論じきれないことばかり。遺骨調査、現地の情報、遺族の心情など過去の記録も掘り起こしておきたいと考えている。★さて、私事ながら今年私の干支のウマ年、1930年（昭和5年1月）からの96年間、振り返るといろいろあったが『烏飛兎走』で退屈する時間はなかった。私の96年があとどこまで続いてくれるか判らないが、せっかくの人生：ウマくやっていきたい。★会員方々の支持で『椰子の実』も大きく育てようとしている。どうぞ元気で過ごしてください。（竹村）